

公開質問コーナー

矢澤さんからの公開質問「絆か？鎖か？」

健

「漢字一字」の企画は自分には結構難しかったので矢澤さんの「絆か鎖か」は面白く読ませてもらいました。漢字の由来に始まり最近の社会報道やご自身の家族・故郷のことに展開して書かれている内容に共感し何の疑問も無く読んできて、唯一「？」と思ったのが肝心の質問となった歌詞の選択でした。というのも「絆」という言葉に対し自分が持っていたイメージは「切っても切れないつながり」で家族や運命的なつながりと思っていたからだ。つまり、自分は元々つながっているものと思っていたようで他の人も矢澤さんも少なからずそういう意識があるのでは。だから「絆」でつなぐという表現がおかしいと思うのではないのでしょうか？

ZARDの坂井泉水の作品「Don't you see」に「裏切らないのは家族だけなんて淋しすぎるよ」というフレーズがあるけれど人は恋愛感情や仲間意識から他人とも強いつながりを求めるところがありそれを「絆」としたい気持ちがあるようだ。よく「絆を深める」とか「深い絆」という表現を使ったり、見かけたりもします。改めて考えるとつながりなので深めるというのはおかしく強めるが正しい。長淵剛の「乾杯」では「固い絆に思いを込めて」と歌っていましたね。「絆」には「繋ぐもの」の他「つないでいる気持ち」の意味もあるので「深情け」や「愛情が深い」など同じように使われてしまっているのだろう。



由佳

他者との繋がりが絆ともなり鎖ともなるのは、本人のその時々での捉え方次第といえます。他者と繋がっていることが「快」であれば、肯定的な感情から絆と呼べるでしょうし、「不快」であれば自分の言動を規制される鎖と感じるのでしょう。

では、同じ状況がなぜ「快」となり「不快」となるのか。それは人間がそもそも持っている

る欲求に深く関係していると思います。人間には、何かに所属し集団の中で守られ、安全に暮らしたいという集団帰属の欲求があります。それと同時に、自分が集団の中で尊重され、自分の能力や可能性を最大限に生かしたいという自己実現の欲求も持っています。

このうちの、集団帰属の欲求への充足感が大きければ、絆を感じるでしょうし、自己実現の欲求への不満感が大きければ、鎖と感じてしまうでしょう。

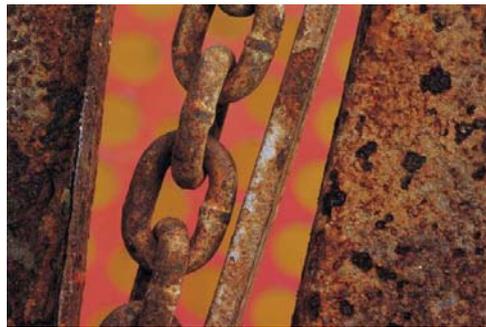
ようは、どちらも人間の基本的な欲求に関連しているので、一方が100%もう一方が0%であれば不健全です。両者を良く感じ取り、バランス良く付き合うことが大事だと思います。

最後に、沢田研二の唄の歌詞ですが、引き止めているわけですから、行こうとしているものを引き止めている状況です。絆というより鎖の方がフィットするのは、自主的に留まっているのではなく、引き止めているからではないでしょうか。

また、全てのものは移ろい変化していくわけで、愛情も例外ではありません。

もし奇跡的に、何十年も情熱的に人を愛し続けることが出来たとしても、その一瞬一瞬が全く同じ思いであるわけがありません。それに人はいつか死にますし、同じ情熱を持って永遠に人を愛し続けることはおそらく不可能です。

そのような移ろいや変化を「引き止める」には、絆ではなく鎖の方がしっくりしますね。



Tomy Jr.

「鎖」と「絆」の話、矢澤さんらしい面白い発想ですね。

矢澤さんの定義は、当人にとって好ましい関係は「絆」、当人にとってイヤな関係では「鎖」としています。

でも、果たしてそうでしょうか？

親子とか兄弟とか「血縁」で結ばれている関係は「絆」と呼ばざるを得ないでしょうけれど、必ずしも皆が皆、好ましいと感じる関係ばかりかどうか、疑問です。

「同郷」というのも「地縁」という「絆」で結ばれていると言わざるを得ませんが「あんな奴と同じ土地の出身だとおもわれたくない」という場合もあるでしょう。

従って、私の定義は、既に何らかの関係で結び付けられているものは「絆」で、何の必然性もないものを無理矢理結びつけようとするのが「鎖」、です。

「血縁」「地縁」「大学の同窓」「同志」など、本人が望むか否かに拘わらず何かの共通点で結び付けられている関係は「絆」です。

そして、そういう既存の関係性がない者同志を無理矢理結びつけるためには「鎖」が必要

なわけです。

親子や兄弟や幼馴染みには「血縁」や「地縁」などの既存の繋がりが存在しているので「絆」があるのですが、恋人や夫婦には血縁や地縁など、つまり「絆」が存在していないので、この人と私は繋がりたいと思えば、「鎖」を使って無理矢理結び付けるしかありません。

それが沢田研二の歌詞だと思います。

まあ夫婦でも何十年も経てば一緒に暮らしていた、共に子育てをした、という実績ベースの関係性が生れてきますので、それは一種の「絆」にも成り得るでしょうが、知り合ったばかりの男女はいくら両者がビビッと来ても、まだ何の繋がりも存在していませんから「絆」は存在せず、それでも一緒に居たいなら「鎖」が必要なのでしょう。これが矢澤さんの（歌詞の「鎖」を「絆」に置き換えた場合に）「おかしいなあ」という感情の正体だと思います。



C a c c o

わたしは阪神タイガースの大ファンです。阪神とは60年の長きに渡って築いてきた絆があると信じています^^ 阪神が接戦で勝ったりすると 親戚でもないのにどこかからのすごい喜びがやってくるし、接戦を落とした時はなぜこんなチームを好きになってしまったのか後悔しきりです。でも毎試合勝てるわけもなく、ダメな姿を観て、悔しい思いを越えていくことが 絆を育てるのだと思っております。マイナス面込みで好きになれるって、絆、深いんじゃないでしょうか。

我が家のライ隊員のお散歩も雨の日も雪の日も飲んだくれた日もしなければならぬ仕事でめんどくさいと思ったことも多々ありました。でも 振り返ると、そういう鎖とも言える繰り返す毎日が絆を作っていた気がします。

絆は気がつけばそこにあるのが理想ですが、油断していると擦り減ったり見失ったり、鎖と化したりしてしまうもの、だからこそ大事に育てていくものと思っています。

ミスチルの歌には「縛られてないと不安なんだろう」という一節があり、わたしたちはある程度縛られていることに安心感や居場所を見出したりするのではないのでしょうか。

日本人は自由を満喫するのが苦手な民族な気がします。自由よりも協調を重視する考え方が「絆」という美しい言葉を作り出し、それによって束縛のイメージの「鎖」と差別化し、自由を求める心を封印してきたなんてことはないのでしょうか。

そういえばDGには「ゆるやかな絆」という規約があるけれど、あれって案外「鎖」だったりして。